

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療福祉総合学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	生活支援技術 I (介護技術 I)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	601教室
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/介護福祉士、社会福祉主事任用資格・保育士・幼稚園教諭2種免許状			
《授業科目における学習内容》						
生活支援におけるICFの意義と枠組みを理解し、尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活ができるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する。自立に向けた生活支援技術の基本(移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清拭、家事援助等)を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% 出席評価 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
第2版介護福祉士実務者研修テキスト 第2巻 中央法規出版						
《授業外における学習方法》						
医療・介護福祉に関する情報に関心を持ち、学習に結び付けていく。						
《履修に当たっての留意点》						
介護技術を実践し、基本的な技術を身に付けられるよう積極的に授業に参加すること						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	生活支援とは何かについて理解できる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p. 220～228)	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション 「生活」とは何か				
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	生活支援とICFの構成について考えることができる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p. 220～228)	
	各コマにおける授業予定	ICFの考え方やアセスメント、ICFの構成要素について				
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	ボディメカニクスの基本が理解できる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p. 240～247)	
	各コマにおける授業予定	ボディメカニクスの原則と実践				
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	居住環境の整備と福祉用具の活用について理解できる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.228～239)	
	各コマにおける授業予定	居住環境としての住まい、住まいの役割とは何か				
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	福祉用具の意義と活用方法について理解できる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.228～239)	
	各コマにおける授業予定	代表的な福祉用具について				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	ボディメカニクスを活用したベッドメイキングを身に付けることができる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.445～447)
	各コマにおける授業予定	各グループに分かれてベッドメイキングを実践する			
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	移動・移乗の生活支援技術の基本について理解できる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.240～255)
	各コマにおける授業予定	移動・移乗の介助における基本的な視点			
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	体位変換の介助を行うにあたって基本的な視点が身に付けることができる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.256～264)
	各コマにおける授業予定	安定した姿勢をとるための基本的視点と実践			
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	自立度が高い利用者の体位変換の介助を身に付けることができる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.256～264)
	各コマにおける授業予定	水平移動(手前に寄せる)、仰臥位から側臥位へ(横を向く)			
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	自立度が高い利用者の体位変換の介助を身に付けることができる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.364～367)
	各コマにおける授業予定	起き上がりから端座位、端座位から立位、立位から歩行までの介助			
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	車いす介助の実践ができる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.256～264)
	各コマにおける授業予定	車いすの介助におけるアセスメントの視点、車いすの基本構造			
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	自立度が高い利用者のベッド・車いす間の移乗の介助が身に付く		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.371～377)
	各コマにおける授業予定	ベッドから車いすへの移乗の介助、車いすからベッドへの移乗介助			
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	車いすの介助の実践		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.371～377)
	各コマにおける授業予定	車いすを押す介助、段差越え、段差を下りるときの介助方法、坂道の上り下りの介助			
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	歩行の介助の基本的な視点が理解できる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.380～386)
	各コマにおける授業予定	歩行の介助におけるアセスメントの視点			
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	自立度が高い利用者の歩行の介助		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.380～386)
	各コマにおける授業予定	平地歩行の介助、段差越えの介助、階段昇降の介助			

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療福祉総合学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	生活支援技術 I (介護技術 I)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	601教室
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/介護福祉士、社会福祉主事任用資格・保育士・幼稚園教諭2種免許状			
《授業科目における学習内容》						
生活支援におけるICFの意義と枠組みを理解し、尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活ができるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する。自立に向けた生活支援技術の基本(移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清拭、家事援助等)を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% 出席評価 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
第2版介護福祉士実務者研修テキスト 第2巻 中央法規出版						
《授業外における学習方法》						
医療・介護福祉に関する情報に関心を持ち、学習に結び付けていく。						
《履修に当たっての留意点》						
介護技術を実践し、基本的な技術を身に付けられるよう積極的に授業に参加すること						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	食事の生活支援技術の基本が理解できる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.270~276)	
	各コマにおける授業予定	食事介助を行うにあたって ・なぜ食事をするのか ・配慮すべきポイントとは				
第17回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	食事介助の実践ができる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.277~279)	
	各コマにおける授業予定	食事介助 ・自立度が高い利用者の食事の介助(グループに分かれて実践する)				
第18回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	利用者の状況・状態に応じた食事形態について理解することができる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.388~393)	
	各コマにおける授業予定	普通食、きざみ食、ミキサー食等、実際に介助をする				
第19回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	入浴・清潔保持の生活支援の基本について理解できる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.280~284)	
	各コマにおける授業予定	入浴介助を行うにあたって ・なぜ入浴・清潔保持を行うのか ・配慮すべきポイントとは				
第20回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	入浴介助の実践を通して配慮すべきポイントが分かる		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.285~286)	
	各コマにおける授業予定	自立度が高い利用者の入浴介助の実践(グループに分かれて実践する)				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	全身清拭・部分清拭の介助のポイントが理解できる	介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.287～295)
	各コマにおける授業予定	全身清拭・部分清拭の実践(グループ、ペアになって実践する)		
第22回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	手浴・足浴の介助のポイントが理解できる	介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.287～295)
	各コマにおける授業予定	手浴・足浴の介助の実践(グループ、ペアになって実践する)		
第23回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	排泄の生活支援技術の基本が理解できる	介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.296～302)
	各コマにおける授業予定	排泄介助を行うにあたって ・なぜ排泄をするのか ・配慮すべきポイント		
第24回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	排泄介助のポイントが理解できる	介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.406～411)
	各コマにおける授業予定	自立度が高い利用者の排泄介助の実践(トイレ、ポータブルトイレ)		
第25回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	排泄介助の実践を通して技術を身に付けることができる	介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.412～421)
	各コマにおける授業予定	布おむつ、紙おむつの活用(グループに分かれて実践)		
第26回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	着脱、整容、口腔清潔の生活支援技術の基本について理解できる	介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.306～312)
	各コマにおける授業予定	身じたくの介助を行うにあたって ・なぜ身じたくを整えるのか ・衣服着脱		
第27回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	衣服着脱、整容の介助の実践を通して技術を身に付けることができる	介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.313～317)
	各コマにおける授業予定	衣服の着脱、整容の介助(グループに分かれて実践)		
第28回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	口腔ケアの意義を知り、実践することができる	介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.318～323)
	各コマにおける授業予定	口腔清潔の介助 ・口腔ケアとは何か、目的とその効果についてG・W		
第29回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	家事援助の基本と応用を学ぶことができる	介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	教科書の指定部分を読んでおく(p.324～349)
	各コマにおける授業予定	介護職が行う家事援助の専門性について		
第30回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	これまでの学習成果を確認することができる	介護福祉士実務者研修テキスト第2巻・配布資料	課題プリントをしつくる(これまでのプリントをまとめる)
	各コマにおける授業予定	総まとめを行う		